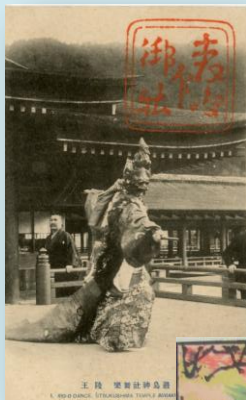


平成二十六年 宮島学センター・図書館企画展示

移りゆく 厳島



ハーバート・G・ポンティング著『この世の楽園 日本』(1922年)より

平成26年8月 5日(火)～12日(火)

8月 18日(月)～26日(火)

土・日は休館。

13日(水)・14日(木)・15日(金)は臨時休館。

開館時間：8時45分～20時30分

会 場：県立広島大学広島キャンパス
図書館2階
(広島市南区宇品東1-1-71)

学生による展示解説(ギャラリートーク)
8月8日(金)・19日(火)の14時から30分程度。

展示は無料でご覧いただけます。

主催：県立広島大学宮島学センター
広島キャンパス図書館

問合せ先

(展示内容について)

宮島学センター・大知(おおち)

電話：082-251-9550

(図書館の利用について)

電話：082-251-5179

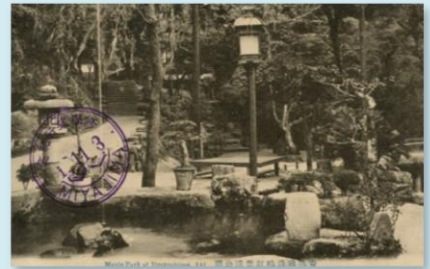
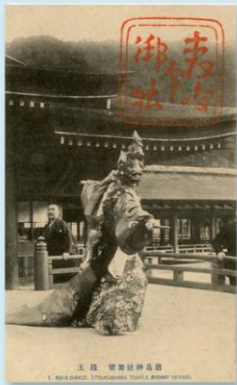
図書の貸出をご希望の場合は現住所の確認できる
健康保険証・運転免許証などをお持ちください。

来客用の駐車場はありませんので、公共交通機関でご
来場ください。

この展示は、本学の国際文化学科の学生が企画しました。厳島の舞楽、厳島八景、明治・大正に厳島を訪れた外国人観光客の旅の様子について、県立広島大学が所蔵する書籍、絵図、絵はがき等を使って紹介します。



「厳島名所」(明治37年)
八枚組の絵図のうち一枚。厳島八景のうち四カ所を描いています。

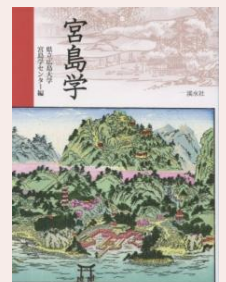


厳島神社の舞楽や紅葉谷の絵はがきも紹介します！



宮島学センターは、平成26年3月に、研究成果の一部を紹介するため、『宮島学』(溪水社)を刊行しました。

今回の展示は、『宮島学』に収録されている3編(第3章 厳島に伝わる左方舞楽とその来源、第6章「厳島八景」文芸と柏村直條、第9章 外国人が見た明治・大正時代の宮島)の内容も踏まえています。



アクセス

- 広島駅から
【バス】広島バス「31号(翠町線)」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車、徒歩1分
【市内電車】[5] 広島港(宇品)行きにて「県病院前」下車、徒歩7分
- バスセンター(紙屋町)から【市内電車】[1] [3] 広島港(宇品)行きにて「県病院前」下車、徒歩7分
- 広島港(宇品)から【市内電車】[1] [5] 広島駅行き又は[3] 広電西広島(己斐)行きにて「県病院前」下車、徒歩7分
- 八丁堀(天満屋前)から
【バス】広電バス「12号線(仁保沖町)」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車、徒歩1分

